

PRESS RELEASE

No.902 2013 年 6 月 1 日

第 55 回ヴェネチア・ビエンナーレ国際美術展

日本館、特別表彰受賞

<Special Mention to Japan>



abstract speaking

- sharing uncertainty and collective acts

抽象的に話すこと - 不確かなものの共有とコレクティブ・アクト

アーティスト：田中 功起（たなかこおき）

キュレーター：蔵屋 美香（くらやみか） 東京国立近代美術館 美術課長

主催：国際交流基金



日本館の様子
写真：Keizo Kioku

第 55 回ヴェネチア・ビエンナーレ国際美術展において、日本館の展示（田中功起の個展、国際交流基金主催）は、特別表彰を受賞いたしました。

日本館の展覧会— 田中功起「abstract speaking - sharing uncertainty and collective acts（抽象的に話すこと-不確かなものの共有とコレクティブ・アクト）」は、複数の人々が共同で一つの課題に取り組む様子を捉えた映像と写真によって構成されており、テーマは「東日本大震災」ですが、一見すぐには読み取れません。しかし、反発したり歩み寄りたりする人々の姿を見るうちに、震災後の社会をどのように共同で作って行けるのか、という問いが、見る人それぞれの中にゆっくりと浮かび上がってくる内容となっています。

グランドオープン前日に行われた日本館のオープニングには河野雅治駐イタリア日本大使をはじめ、多くのゲストが集い、注目が高まっていました。2013 年 6 月 1 日 11 時（現地時間）、ビエンナーレ開幕と共に本年度の各賞が発表され、日本館が特別表彰(Special Mention)を受けました。

ヴェネチア・ビエンナーレにおいては、昨年の建築展において日本館が東日本大震災をテーマとする展示で賞（金獅子賞）を受賞しているほか、美術展ではオノ・ヨーコ（2009 年）、千住博（1995 年）、池田満寿夫（1966 年）などの日本のアーティストがこれまで受賞しています。

受賞コメント

受賞できてとてもうれしく思います。この賞は、この日本館のプロジェクトに関わったすべての人たちのものです。ぼくらがこの展示を通して目指したことは、人びとの協働が生み出す可能性へのささやかな提案です。それがたとえはかない理想だとしても、ぼくらは少しだけ楽観的な態度でもって、この社会に、この世界に働きかけていくべきだと思います。

田中功起

関わった人びとすべてがさまざまに協力しあった、本当に楽しい展覧会実現の過程でした。今回は展示が終わった瞬間から、「今やれるだけのことはやった」、そして「これからさらにふくらませていける可能性を見つけた」との思いが、チーム全員にありました。若い作家の提案が、小さくとも社会の何かを変えて行く、その未来に対していただいた賞だと思います。本当にありがとうございました。

蔵屋美香

開催概要

第55回ヴェネチア・ビエンナーレ国際美術展
総合テーマ：The Encyclopedic Palace
総合ディレクター：マッシミリアーノ・ジオーニ
会期：2013年6月1日～11月24日
月曜日休館 10：00-18：00

日本館展示

会場：ヴェネチア市ジャルディーニ会場内日本館

Padiglione Giapponese,

Giardini della Biennale, Castello 1260, 30122 Venezia

主催：国際交流基金

特別助成：公益財団法人石橋財団

協力：大光電機株式会社、NEC ディスプレイソリューションズ株式会社、ARTISTS' GUILD

<http://www.jpf.go.jp/venezia-biennale/art/j/55/index.html>

※画像についてお問合せは下記広報担当までお願いいたします。



①日本館会場の様子
Photo:Keizo Kioku



②作家ポートレート
Photo:Keizo Kioku

本事業に関するお問合せ：

国際交流基金 文化事業部 欧州・中東・アフリカチーム 森多恵、小山田洋子
〒160-0004 東京都新宿区四谷 4-4-1 T.03-5369-6063 F.03-5369-6038 mail: venezia@jpf.go.jp

取材・広報用画像のお問合せ

国際交流基金(担当 平・大西 (TAIRAMASAKOPRESSOFFICE)) mail: venezia@jpf.go.jp T. 090-9621-5235